

ふれあいの心がつまっています。

# ぽけっと

2020 WINTER  
第124号

野木町社協情報誌 **NOGI-TOWN POCKET**

 この情報誌は、一部赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

**ふくしのつどいのぎ2019を開催しました**



## 目次

- P2 令和元年度赤い羽根共同募金実績貸付制度のご案内
- P3 セミナー「赤い羽根共同募金と福祉教育」
- P4 ふくしのつどいのぎ2019
- P6 おれんじカフェ  
正しい手洗いで、風邪予防  
聞こえと難聴の悩み 相談と交流会

- P7 令和元年台風19号佐野市・足利市  
災害ボランティアセンター運営支援報告
- P8 第2回ひとりぐらし高齢者交流会  
善意の寄付  
ふれあい福祉総合相談



ツイッター  
始めました!

野木町社会福祉協議会・野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

ホームページアドレス <http://www.nogi-shakyo.or.jp>



# 令和元年度 赤い羽根共同募金にご協力 いただきありがとうございました

## 法人募金協力事業所 (順不同・敬称略)

- (有)平澤製作所
- (株)日誠工業
- (有)山田製作所
- フクダ工業(株)
- 日本ピストンリング(株) 栃木工場
- 坂本香料(株)野木工場
- (株)伊藤段ボール関東
- 栄研化学(株)野木事業所
- 寿工業(株)
- 杏林製菓(株) わたらせ創薬センター
- (有)川島自動車工場
- 東洋精工(株)
- (有)岩波興業
- 弘電商事(株)古河支店
- 永田運送(有)
- 小山農業協同組合 野木支店
- (有)針谷工務店
- (株)藤本畜産
- 道浦工業(株)
- (株)足利銀行野木支店
- (有)館野造園
- (有)岩崎鉄工所
- (株)乃木鈴建設産業

## 令和元年度 赤い羽根募金実績表

募金(内訳)	協力(世帯)数	金額(円)
友 沼	371	149,500
松 原	723	292,500
新 橋	1,365	504,115
野 木	440	180,700
野 渡	375	150,000
南 赤 塚	530	212,000
中 谷	96	38,400
丸 林 東	1,028	405,200
丸 林 西	620	248,800
潤 島	543	217,001
若 林	179	71,900
佐 川 野	233	93,200
川 田	148	59,200
<b>個別募金合計</b>	<b>6,651</b>	<b>2,622,516</b>
街頭募金	台風のため中止	
職域募金	2 箇所	6,407
法人募金	23 社	108,153
設置募金箱	9 箇所	6,164
利息	—	5
自動販売機募金	1 箇所	42,033
<b>総 合 計</b>		<b>2,785,278</b>

みなさまからご協力いただいた募金は、地域福祉活動に使わせていただきます。

- (1) 県内福祉施設等への配分  
(県配分委員会により配分先や金額が決定され、栃木県内の福祉施設へ配分されます。)
- (2) 野木町地域福祉活動への配分
  - ひとりぐらし高齢者の交流事業
  - 学童・生徒V普及事業他

## 貸付制度のご案内

### 教育支援資金(教育支援費・就学支度費)

この制度は、栃木県社会福祉協議会でおこない、他資金からの借入れが困難な低所得者世帯に属する者が学校教育法に規定する高等学校、大学、または高等専門学校に就学するのに必要な経費及び入学に際し必要な経費を貸付するものです。

※他制度が利用できる場合は、そちらが優先となります。

(本資金のご利用にあたっては、日本学生支援機構(給付・無利子)、日本政策金融公庫、母子父子寡婦福祉資金などの他の融資・給付制度の利用が優先となります。これらが利用できるか必ず確認のうえ、ご相談ください。)

### ◎修学資金

資金種類	貸付限度額	据置期間	償還期間	貸付利子
教育支援費	高校…月35,000円以内 高専…月60,000円以内 短大…月60,000円以内 大学…月65,000円以内	卒業後 6ヶ月以内	据置期間 経過後 20年以内	無利子 (延滞利子は年5%)
就学支度費	500,000円以内			

※貸付には、世帯の所得制限等の貸付要件がありますので、詳しくは野木町社会福祉協議会 57-3100 までお問い合わせください。

令和元年 11 月 22 日(金)

# セミナー「赤い羽根共同募金と福祉教育」

講師 栃木県共同募金会 粕谷 亜紀 氏

事例発表 上三川町社会福祉協議会 小野田 恵 氏



野木町社会福祉協議会では、町内の小中学校 7 校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、年 3 回の連絡会議を開催しています。また、赤い羽根共同募金 B 配分によって毎年各校に福祉活動に対する助成金を出させていただいています。

今回は会議後に、会議のメンバー以外の先生方にもご出席いただき、赤い羽根共同募金への理解を深め、福祉教育をより推進していくためにセミナーを開催しました。



まずは、自己紹介♪

好きな給食や野木町の好きなところを発表していただきました！  
好きな給食では、やはり「揚げパン」「カレー」が上位！  
野木町の好きなところは「人が温かいところ」「松原大橋からの景色」「ヒマワリとイルミネーション」などが挙げられていました。

**赤い羽根共同募金**は…地域の様々な福祉課題に対する活動をみんなで支える一つのしくみです。そして、子どもたちの「ふるさと」野木町に住む誰もが、**ふだんのくらしをしあわせに**送れるようにするために、ご活用いただいています。

今取り組んでいることを更に良くすることはもちろん、新しい取り組みも大歓迎です。地域の力を学校に、学校の力を地域で！子どもたちも地域の立派な担い手です。 (粕谷)



**上三川町社協**では…町内の高等学校と「ふくしアクションプログラム」という協働事業を行っています。

福祉講演会 ⇒ 実践 ⇒ 報告会(全校集会)という流れで、福祉についての理解と関心を高めることを目的としています。

その他の事業も「導入・実践・ふりかえり」をしっかりと行い、効果的に学べるよう工夫しています。 (小野田)

**野木町社協**でも…出前講座や講師紹介、その他ご相談があればできる限り対応します！

子どもたちの選択肢を増やすため、今やっていることを更に良くしていくため、学校の理想を実現するために、社協や赤い羽根共同募金を存分に活用してください。



連絡会議で作られた「地域福祉新聞」もぜひご覧ください！  
野木町内小中学校の福祉教育への取り組みが掲載されています！  
(令和 2 年 2 月 19 日発行予定)

## ～ふくしのつどいのぎ 2019を開催しました～

「ふくしのつどいのぎ 2019」(町社会福祉協議会・町社会福祉ボランティア連絡協議会主催、社会福祉法人パステル様 協力)が、令和元年12月14日 エニスホール小ホールで開催されました。式典では、日ごろから社会福祉に尽力されている方々に表彰状ならびに感謝状が贈呈されました。表彰終了後には、夏に開催した小学生によるボランティアチャレンジスクールの学習発表と、講談師の神田織音さんをお招きして認知症予防講談を披露していただきました。

### 野木町社会福祉協議会長表彰・感謝状受賞者

#### 【表彰】

##### ◎民生委員児童委員及び主任児童委員

- ・ 舘野 恵美子 様
- ・ 関根 祐子 様
- ・ 大草 久美子 様
- ・ 殿塚 洋子 様

##### ◎社会福祉団体及び社会福祉施設等の役職員

- ・ 小林 隆春 様
- ・ 針谷 正美 様

##### ◎団体及び施設等

- ・ 五家英子と楽しく踊ろう会  
野木ひまわり 様
- ・ 五家英子と楽しく踊ろう会  
のぎコスモス 様

#### 【感謝状】

- ・ 野木ライオンズクラブ 様
- ・ 渡邊会計事務所 様
- ・ JUNCTION HAIRGALLERY  
美容室スタッフ一同 様
- ・ 矢畑むらづくり組合 様
- ・ 五家 英子 様
- ・ 杏林製薬株式会社わたらせ創薬センター 様



受賞された皆様おめでとうございます!

### ふくしのつどいのぎ2019アンケートで頂いた意見の一部をご紹介します

#### ボランティアチャレンジ スクールについて

普段の生活環境の中でなかなか接することができないことを夏休みの貴重な時間を通して体験できたことが大変よくわかりました。大変よくできました。(70代 女性)

小学生の発表に加えて、スライドもわかりやすく良かったです。今後も小学生がボランティアチャレンジスクールに参加することによって、体験したこと、学んだことが、その子達の未来、周りの友人、家族の人達にもつながっていくといいなと思いました。(20代 女性)

#### 認知症予防講談について

すばらしい内容でした。家族に認知症がいる者にとってすべて共感できました。(70代 男性)

身近な問題のお話で考えさせられた話で、今からの生き方の参考にできればと思います。(20代 女性)

初期症状、家族の受け止め方、流れをしっかり理解して行く事と思います。(70代)

大変良かったです。身近な出来事を含めて的確なアドバイスや考え方を指導されていたように思います。(60代 女性)

## ボランティア取材レポート 走辺 寿美子

「ふくしのつどいのぎ 2019」(町社会福祉協議会・町社会福祉ボランティア連絡協議会主催)が、令和元年12月14日、エニスホール小ホールで開催されました。式典では、日頃から社会福祉に尽力されている方々に表彰状ならびに感謝状が贈呈されました。式典終了後、夏休みのボランティアチャレンジスクールで学んだ最優秀の2グループ・9名の小学生たちの発表が行われました。発表内容は、①「みんなつながる障がい者・認知症の方とのふれ合い」②「4日間のふれあい交流体験」と題し、手話・点字・朗読の福祉講座体験やふれあいサロンでのお年寄りたちとの交流、校外学習の千葉県認知症疾患医療センターでの利用者の方々との交流体験などをレポートしたものの。この貴重な体験は、きっと子供たちの将来の糧となるでしょう。

その後、講談師・神田織音さんによる認知症予防講談が行われました。

### テーマ「～認知症について考えよう～」講談で学ぶ認知症 講師 神田 織音 氏

「と～ふ～、と～ふ～」と豆腐屋の売り声が響き渡り、会場は静まり返りました。第一部は古典講談「徂徠豆腐」。釈台を前に神田織音さんが語る萩生徂徠と豆腐屋・七兵衛の人の情けの物語に、どんどん吸い込まれていきます。時々、会場から笑いも起き、「講談って、こんなに面白いものなんだ」と思ったのは私だけでしょうか？ 織音さんは、1999年に神田香織に入門、現在は真打の講談師。ラジオ番組にレギュラー出演した経験もあり、古典の他、福祉講談として「認知症予防講談」「成年後見講談」などを手がけているそうです。

第二部は、いよいよ認知症予防講談。最近、物忘れやヤカンの空焚きなどが始まった姑のりんさんを心配するお嫁さんのちあきさん。ところが、ちあきさんの夫である息子は母親の現実を認めようとしません。それから、しばらく経ったある日のこと、りんさんが亡くなった長男が生きていると言い出します。さあ、大変！ちあきさんが、りんさんを病院へ連れて行こうとしますが、りんさんも夫も頑として拒否します。ところが、孫のしんたろう君が「お婆ちゃんは自分の家を忘れ、僕のことを父さんと間違えているよ」と、現実を伝えます。そうして、夫も納得して、りんさんを病院の物忘れ外来を受診させることに。結果は、アルツハイマー型認知症の初期で、脳の萎縮はしていないが、血流が詰まっているとの診断。進行を遅らせるために体操教室に通ったり、デイサービスなど介護支援を受けることになりました。こんな話、どこかで聞いたことがありますね。会場の多くの人たちも、家族や知人に、よくある話として、頷いていたのではないでしょうか？ 「家族が認知症になったら、現実を受け入れ共に歩むことが大事。予防には、早期の家族の気づきが一番で、早く物忘れ外来の受診をして下さい」と語る織音さん。最後に介護サポートなどを、わかりやすく説明してくれました。さすがプロの語り！ すっと、心に入って来ました。堅苦しい教室で学ぶより、こうした講談で学ぶ方が、よりわかりやすく、身近に感じられ、ほんとうによかったと思います。こうやって、張り扇で釈台をたたきながら、とかく深刻になりがちな認知症や難しい成年後見の実例を、笑いや人情話で、各地で演じているという織音さん。今後のご活躍を応援しています。ありがとうございました。

講演後、町の地域包括支援センターのケアマネジャーさんから同センターの業務について説明がありました。例えば、「介護保険の申請をしたい」「認知症の相談がしたい」「今の健康に不安がある」「近所に心配なお年寄りがいる」など、気楽にご相談下さいとのこと。これからの少子高齢化社会で高齢者の暮らしをサポートしてくれる同センターを頼りにしたいものです。





# おれんじカフェ



「おれんじカフェ」とは認知症の方やその介護をしている方、認知症に関心がある方など、誰でも気軽に利用できる憩いの場です。認知症に関することをみんなで共有してみませんか？今年度は、毎月第3水曜日に開催予定です。



申し込み不要、  
出入り自由♪



- 日時** 毎月第3水曜日  
午後1時30分～午後3時30分
- 会場** 野木町総合サポートセンター ひまわり館
- 内容** 講話、情報交換 など
- 2月(2/19)「音楽療法について」**  
講師：障害相談員
- 3月(3/18)「補聴器について」**  
講師：福祉用具専門相談員

**問合せ先**

野木町役場 健康福祉課 高齢対策係 TEL 57-4173  
野木町地域包括支援センター(本センター) TEL 57-2400  
(サブセンター) TEL 23-2200

## 正しい手洗いで、 風邪予防!!



**★ポイント★**

- ① 外出先から帰宅後や調理前後、食事前等こまめに手を洗う。
- ② ウイルスは石けんに弱いので、正しい手洗い方法で石けんを使う。

正しい手の洗い方

手洗いの前に  
・爪は短く切っておきましょう  
・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手背も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

## 聞こえと難聴の悩み・補聴器相談と交流会

聞こえに不自由を感じている方やそのご家族・友人・介護者等を対象に相談と交流会を行います

**日時** 令和2年3月17日(火)  
・13時～15時 相談会(受付12時45分) ・15時～16時 難聴者体験・交流会等

**場所** 町老人福祉センター「ホープ館」2階教養室・会議室(野木町大字友沼5840-7)

**内容** 相談、交流、福祉機器の展示・試用 **主催** 特定非営利法人栃木県中途失聴・難聴者協会

電話：080-8742-9811 Fax：028-333-1453 Mail：tochiginancho@yahoo.co.jp



# 令和元年台風 19 号 足利市・佐野市災害ボランティアセンター運営支援報告

10月12日に発生した台風19号が関東地方へ上陸し、県内に大きな被害をもたらしました。このため、被災された方を支援する災害ボランティアセンター（以下、災害VC）が各市町で設置されました。本会では栃木県社会福祉協議会からの要請を受け、足利市と佐野市の災害VCへ本会職員を2名ずつ派遣しました。主にニーズ班とマッチング班の支援となりました。その内容や職員が感じたことの一部を報告します。

## 足利市災害VC 10/19～10/22、11/16、11/30（計6日間）

### ★マッチング班

団体での参加も多くあり、調整に工夫を要しました。また、待ち時間が長くなる場合があるなど災害VC運営を理解していただくことも重要だと感じました。

### ★ニーズ班

電話でのニーズ受付と災害VCチラシのポスティングを行いました。直接住民の方と話すことによって潜在的なニーズの発掘につながりました。



## 佐野市災害VC 10/18～11/10（計24日間）

### ★マッチング班

天気やボランティアの状況などに合わせて、会場のレイアウトや掲示を変更するなどの工夫をしていました。

初めて行く場所、初めての作業であることがあるので、地図やニーズ票をボランティアと職員とで確認します。

ボランティアの方々は、自前の軽トラック、特殊作業（床下もぐり）ができるなど、持っている力を最大限に生かされていました。

### ★ニーズ班

主に現地調査に行きました。現地調査は、ニーズの依頼後に見立てたボランティアの派遣人数や作業内容が適当であるかどうか、職員が現場へ訪問して判断します。住民の方と話す中で、ご本人や近所の方で気になることがあれば了承を得て地域包括センターなどの専門機関につなぐ役割もあります。

毎日状況が変化する中でたくさんの情報が行き交うため、メモや伝達の方法に気を付けました。

## ボランティアとして

足利市災害VC	10/21
栃木市災害VC	10/17、10/19、11/28
佐野市災害VC	10/18、10/28、11/15、11/26



会長を含む職員でボランティア休暇を活用して参加させて頂きました。（11/26、11/28は職連協災害支援事業）

作業に集中して活動することはもちろんのこと、社協職員としてコミュニケーションも大切にしながら、被災されて複雑で不安な気持ちに寄り添って活動することも大切だと改めて感じました。

またボランティアとして参加することで見えてくることも沢山あり、今後の業務に活かしていきたいと思えます。

このたび被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます  
皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます

台風19号による栃木県内の被害情報、災害ボランティア情報は以下をご覧ください

「栃木県社会福祉協議会」 <http://tochigikenshakyō.jp/>

第2回

# ひとりぐらし高齢者の交流会

**日時** 令和2年2月27日(木) 午前10時～午後1時

**場所** 町老人福祉センター ホープ館 **申込定員** 70名

**内容**

- ・「ゆかいな腹話術とマジックショー」 ボランティアグループ プリティワールド
- ・「ウクレレ演奏」 唄うウクレレ
- ・参加者全員での会食

**対象者** 野木町内にお住いの65歳以上のひとり暮らしの方

**申込方法** 申込受付は **令和2年2月3日(月)～12日(水)** です。

**57-3100** 又は、野木町社会福祉協議会まで直接お申し込みください。(土・日・祝を除く。)  
また、当日ホープ館(老人福祉センター)までの送迎を希望される方は、申し込みの際にその旨をお伝えください。

## 善意の寄付 ありがとうございます!!

**10月**

- ・杏林製薬株式会社
- わたらせ創業センター 様 ..... 車いす(低床タイプ)1台
- ・古河ヤクルト販売株式会社 様 ..... 26,000円
- ・JUNCTION HAIR GALLERY 美容室スタッフ一同 様 ..... 8,880円

**11月**

- ・匿名 様 ..... 10,000円
- ・七宝焼き講座生一同 様 ..... 6,500円
- ・七宝焼きメルヘン会 様 ..... 10,000円
- ・民生委員児童委員協議会 様 ..... 9,643円

**12月**

- ・大谷正志 様 ..... 車いす1台
- ・JUNCTION HAIR GALLERY 美容室スタッフ一同 様 ..... 8,880円
- ・初心者向けフォークダンス講座 様 ..... 662円
- ・日本ピストンリング労働組合 様 ..... 15,000円

## 『ふれあい福祉総合相談』のお知らせ

野木町社会福祉協議会では、日頃から抱えているいろいろな悩みや問題について、相談に応じられるように「ふれあい福祉総合相談」を開設しています。

相談種別	相談日・時間	相談内容
心配ごと相談	毎月第1・第3水曜日 午前10時～正午	家庭の悩み 心配ごとのある方
法律(弁護士)相談	毎月第3木曜日 午前10時～正午	法律に関わる相談のある方 予約が必要ですので、下記までご連絡ください。
ボランティア相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	ボランティア保険の加入や、社会福祉支援活動等に関する相談のある方
介護相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	介護に関する相談のある方
生活資金・地域福祉権利擁護相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	生活資金や日常金銭管理に心配のある方



**場所・問い合わせ先**

**野木町社会福祉協議会**  
(野木町老人センター内)  
電話 **57-3100**  
FAX **57-3101**

- 相談は無料・秘密は厳守いたします
  - 法律相談は、事前予約が必要です
- また、相談については原則として1人2回(2019年度内)とします